

市政トピックス

新本庁舎建設 ニュースNo.15



しゅん工前、最後の現場見学会を開催します

内外装工事は順調に進み、1階外装部分は仕上げの木パネルが貼られています。また、エレベーターの取り付け工事も始まりました。

先月には外構と植栽の工事を発注し、いずれも市内業者が手掛けることになりました。

12月19日のしゅん工に向け、工事は急ピッチで進められています。



2階内装工事の様子（7月4日撮影）

第4回現場見学会を開催

仕上げ工事が進み、内部の見学はできませんが、地下駐車場などが見学できます。しゅん工前最後の現場見学会にぜひお越しください。

●日時 8月31日（日）

▷午前の部 午前11時～正午

▷午後の部 午後1時30分～2時30分

※雨天の場合は、9月7日（日）に延期

●場所 新本庁舎建設地（豊科6000番地）
豊科近代美術館西

●対象 小学4年生以上の市民

●申し込み 8月15日（金）までに電話で申し込んでください。（平日の午前8時30分から午後5時15分まで）

※詳細は、後日参加者にお知らせします。

●本庁舎内庁舎建設推進課

☎71・2000（代） ☎71・5000

市が所有する公共施設の整備方針について、外部の専門家が評価・検証を行う「市公共施設評価専門委員会」の第1回会議が6月24日、県安曇野庁舎で行われました。当日は、宮澤市長から委員に委嘱書が手渡された後、委員長には、高木直樹さん（信州大学工学部教授）が選ばれました。また、宮澤市長が委員会に、市が本年3月に作成し

た「公共施設再配置計画基本方針（素案）」への調査検討について諮問しました。旧5町村時代に整備され、用途や目的が重複する施設や耐用年数を迎えている施設については、維持経費等を削減することが、市の健全な財政運営をする上で必要になっています。基本方針（素案）は、市が計画的に施設を整理し、再配置する上で

基本になるものです。委員会では、再配置について市民からの理解を得られるよう、施設の必要性や維持の妥当性、機能維持の優先順位の視点から素案を検討します。検討結果は、本年12月を目標に提言書として市に提出する予定です。



宮澤市長から委員に諮問書が手渡された

公共施設整備の方針

専門委員会に諮問

市制施行10周年記念事業 市民会議を設置

市制施行10周年記念事業「市民会議」の第1回会議が7月4日、県安曇野庁舎で行われました。当日は、市商工会や区長会、市議会などの代表者に宮澤市長から委員委嘱書が手渡されました。会長には、齊藤正昭さん（市商工会会長）が選ばれました。宮澤市長はあいさつで「市民の皆さんと行政が力を合わせ、



市民会議の様子

記念事業を盛り上げ、協働のまちづくりを推進し、地域の活性化や課題解決にも役立てていきたい」と期待を寄せました。市では、平成27年度の1年間を記念事業の実施期間と位置付け、市民会議では、市主催の記念事業のほかに、市民が主催する記念事業の情報共有や日程調整、市民団体間での連携事業

について検討します。検討結果は11月までに市全体の実施計画としてまとめ、平成27年度からは市民会議を実行委員会に移行し、記念事業を行っていきます。

交通事故多発非常事態を宣言

本年に入り市内で交通事故多発が多発していることから、市では「交通事故多発非常事態」を宣言し、「交通事故多発非常事態」を7月1日、堀金支所駐車場で行いました。当日は市や警察など関係者約150人が参加。宮澤市長が宣言書を読み上げ「交通安全は自分自身が主役。市民総ぐるみで全力を挙げて交通事故多発抑

止に努めて欲しい」と呼び掛けました。出発式終了後、参加者は、堀金信号機交差点で街頭啓発活動を行いました。



街頭啓発活動の様子

市全体で交通安全に取り組みましょう

市内では、本年上半期で5件の交通事故が発生し、5人が亡くなっています。過去10年間の交通事故死者数の平均値と比較して約3倍、県内の他地域と比べても高い状況です。また、市内では、例年下半期に交通事故が多発する傾向があります。

死亡事故の傾向

- ①週末・夜間に集中しています。
- ②高齢者の死者が増加しています。
- ③飲酒に起因する事故が増加しています。

歩行者の皆さんは

道路の横断には横断歩道を利用し、横断中も安全を十分確認しましょう。また、夕方や夜間の外出には、明るく目立つ服装や反射材を身に付けましょう。

運転者の皆さんは

通学路や住宅街、見通しの悪い交差点ではスピードを落とし、徐行や一時停止をして安全確認をしましょう。